

# 野村アバンティス世界株式ファンド Aコース／Bコース (野村SMA・EW向け)

## 運用報告書(全体版)

第1期(決算日2023年12月6日)

作成対象期間(2023年11月6日～2023年12月6日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年11月6日以降、無期限とします。	
運用方針	野村アバンティス米国株式マザーファンドおよび野村アバンティス世界(除く米国)株式マザーファンド受益証券を通じて、世界各国の企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、実質的に保有する各外国投資信託に対しては、各外国投資信託のベンチマークの通貨配分をベースに為替ヘッジ(先進主要国通貨等による代替ヘッジを含みます。)を行なうなど為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	野村アバンティス世界株式ファンド Aコース/Bコース (野村SMA・EW向け) 野村アバンティス米国株式マザーファンド 野村アバンティス世界(除く米国)株式マザーファンド	野村アバンティス米国株式マザーファンドおよび野村アバンティス世界(除く米国)株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 米ドル建ての外国投資信託であるアメリカン・センチュリー・ETF・トラストアバンティス・US・エクイティ・ETF受益証券を主要投資対象とします。なお、米国の株式等に投資する場合があります。 米ドル建ての外国投資信託であるアメリカン・センチュリー・ETF・トラストアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF受益証券を主要投資対象とします。なお、米国を除く世界の株式等に投資する場合があります。
主な投資制限	野村アバンティス世界株式ファンド Aコース/Bコース (野村SMA・EW向け) 野村アバンティス米国株式マザーファンド 野村アバンティス世界(除く米国)株式マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
配分方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、原則として基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ＜Aコース＞

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税分	込配	み金騰落				
(設定日)	円							百万円
2023年11月6日	10,000		—		—	—	—	9
1期(2023年12月6日)	10,347		5	3.5	—	—	90.3	16

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託組入比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率
		騰	落			
(設定日)	円					
2023年11月6日	10,000		—	—	—	—
11月末	10,267		2.7	—	—	82.2
(期末)						
2023年12月6日	10,352		3.5	—	—	90.3

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託組入比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ＜Bコース＞

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税分	込配	み金騰落				
(設定日)	円							百万円
2023年11月6日	10,000		—		—	—	—	1
1期(2023年12月6日)	10,355		5	3.6	—	—	91.5	43

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託組入比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\* 当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率
		騰	落			
(設定日)	円					
2023年11月6日	10,000		—	—	—	—
11月末	10,296		3.0	—	—	83.4
(期末)						
2023年12月6日	10,360		3.6	—	—	91.5

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

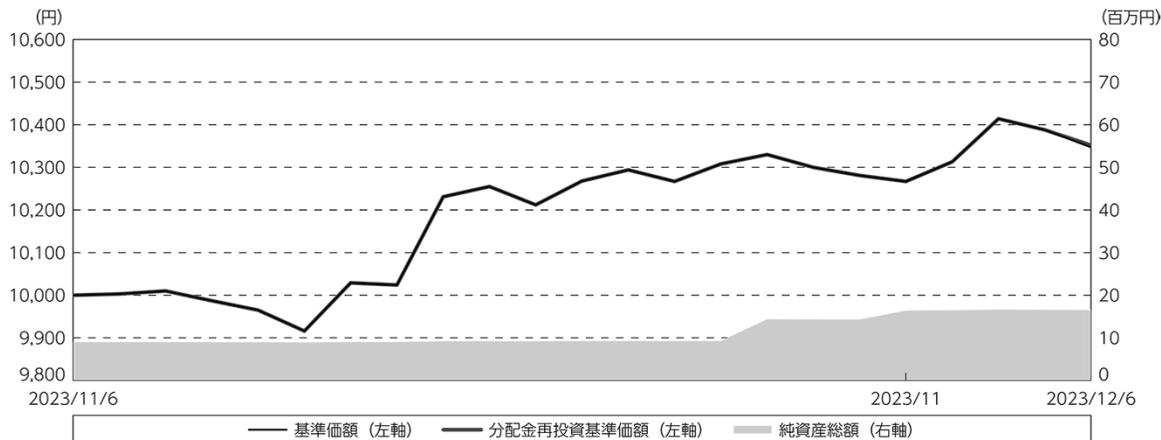
\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託組入比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## <Aコース>

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：10,347円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率： 3.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末10,347円となりました。

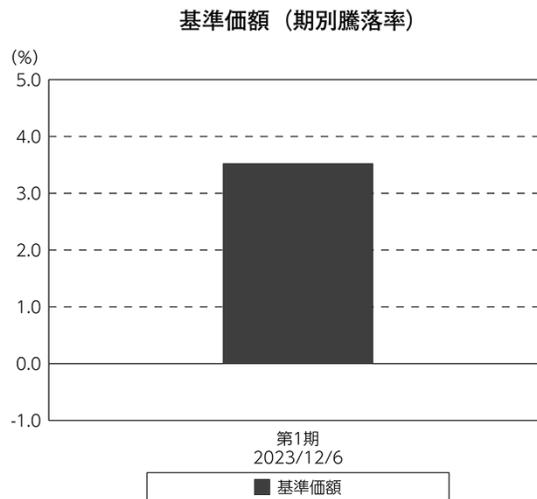
- (上昇要因) 7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことを受けて、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことが好感され、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 11月、金融引き締めに積極的とされていたFRB（米連邦準備制度理事会）高官が、インフレ率が低下し続ければ数ヵ月先に政策金利を引き下げる可能性を示唆したことで追加利上げ観測が和らぎ、株式市場が上昇したこと。

## <Aコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり5円の収益分配を行ないました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2023年11月6日～ 2023年12月6日
当期分配金	5
(対基準価額比率)	0.048%
当期の収益	5
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	346

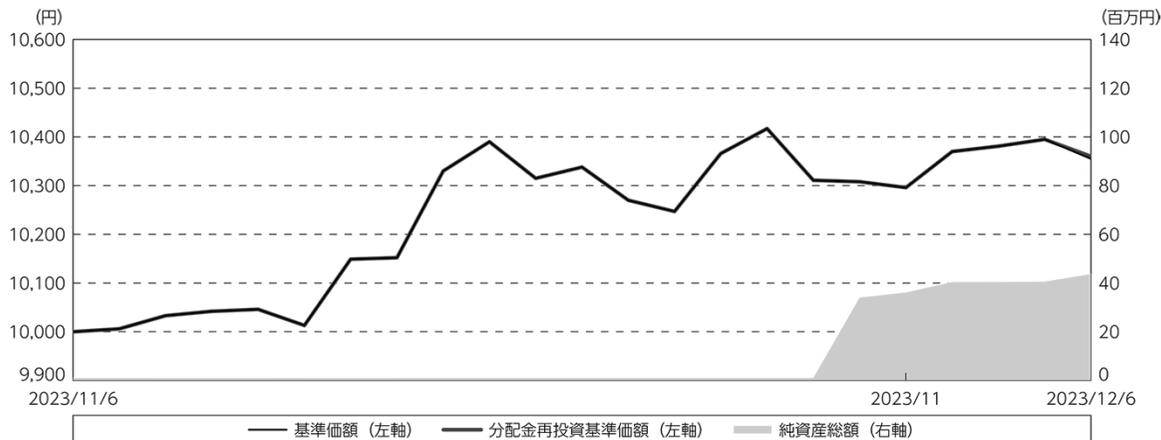
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;Bコース&gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移

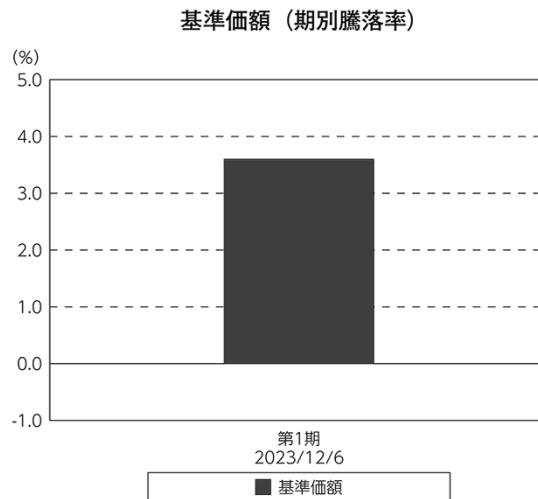


## <Bコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

### ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり5円の収益分配を行ないました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2023年11月6日～ 2023年12月6日
当期分配金	5
(対基準価額比率)	0.048%
当期の収益	—
当期の収益以外	5
翌期繰越分配対象額	354

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース/Bコース>

### ○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の中央銀行の金融政策や経済活動状況などに左右される展開となりました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

〔野村アバンティス世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）〕および〔野村アバンティス世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）〕は、主要投資対象である〔野村アバンティス米国株式マザーファンド〕受益証券および〔野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

#### [野村アバンティス米国株式マザーファンド]

##### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

##### ・期中の主な動き

〔アメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・US・エクイティ・ETF〕受益証券を主要投資対象とし、投資比率を概ね高位に維持しました。

#### [野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド]

##### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

##### ・期中の主な動き

〔アメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF〕受益証券を主要投資対象とし、投資比率を概ね高位に維持しました。

#### [野村アバンティス世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）]

##### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

##### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

## <Aコース/Bコース>

### [野村アバンティス世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）]

#### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

## ◎今後の運用方針

### [野村アバンティス米国株式マザーファンド]

[アメリカン・センチュリー・ETF・トラストアバンティス・US・エクイティ・ETF] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、投資制限または投資対象とする外国投資信託の保有制限に従うため、組入比率を引き下げることがあります。

### [野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド]

[アメリカン・センチュリー・ETF・トラストアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、投資制限または投資対象とする外国投資信託の保有制限に従うため、組入比率を引き下げることがあります。

### [野村アバンティス世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）]

[野村アバンティス米国株式マザーファンド] 受益証券および [野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド] 受益証券への投資にあたっては、米国の株式市場と米国を除く先進国の株式市場の時価総額構成比を勘案して、各マザーファンド受益証券に対する投資比率を適宜調整します。なお、各マザーファンド受益証券の組入比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

### [野村アバンティス世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）]

[野村アバンティス米国株式マザーファンド] 受益証券および [野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド] 受益証券への投資にあたっては、米国の株式市場と米国を除く先進国の株式市場の時価総額構成比を勘案して、各マザーファンド受益証券に対する投資比率を適宜調整します。なお、各マザーファンド受益証券の組入比率の合計は、原則として高位を維持することを基本とします。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いません。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月6日～2023年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.019	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.014)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.003)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.002)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.014)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.000	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	3	0.033	
期中の平均基準価額は、10,267円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

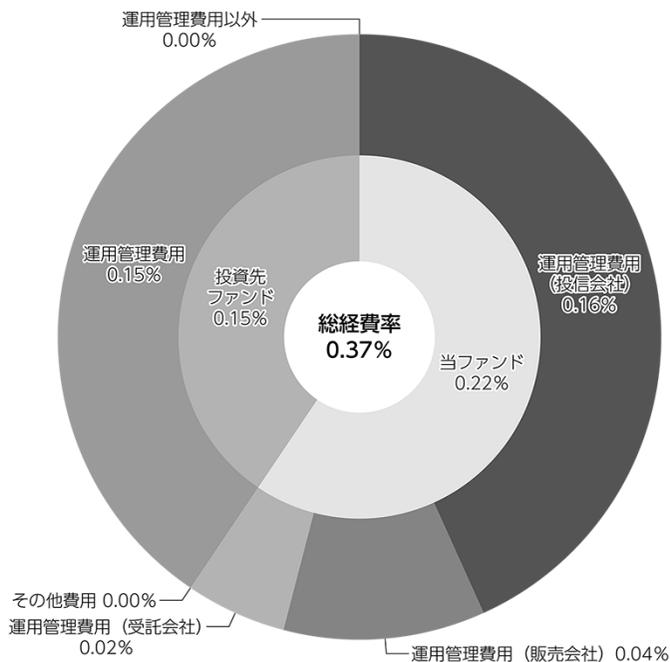
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Aコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.37%です。



(単位: %)

総経費率①+②+③	0.37
①当ファンドの費用の比率	0.22
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。  
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Aコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月6日～2023年12月6日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
野村アバンティス米国株式マザーファンド	10,915	11,089	98	102
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド	4,873	4,952	21	22

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月6日～2023年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2023年11月6日～2023年12月6日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 9	百万円 -	百万円 -	百万円 9	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2023年12月6日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
野村アバンティス米国株式マザーファンド	10,817	11,156
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド	4,851	4,966

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## &lt;Aコース&gt;

## ○投資信託財産の構成

(2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アバンティス米国株式マザーファンド	11,156	67.5
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド	4,966	30.0
コール・ローン等、その他	416	2.5
投資信託財産総額	16,538	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村アバンティス米国株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（38,343千円）の投資信託財産総額（40,984千円）に対する比率は93.6%です。

\*野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（17,058千円）の投資信託財産総額（18,381千円）に対する比率は92.8%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.26円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	30,640,798
コール・ローン等	181,120
野村アバンティス米国株式マザーファンド(評価額)	11,156,708
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド(評価額)	4,966,870
未収入金	14,336,100
(B) 負債	14,114,391
未払金	14,104,376
未払収益分配金	7,986
未払信託報酬	2,002
その他未払費用	27
(C) 純資産総額(A－B)	16,526,407
元本	15,972,313
次期繰越損益金	554,094
(D) 受益権総口数	15,972,313口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,347円

(注) 期首元本額は9,000,000円、期中追加設定元本額は6,972,313円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1.0347円です。

## ○損益の状況（2023年11月6日～2023年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	354,958
売買益	440,044
売買損	△ 85,086
(B) 信託報酬等	△ 2,029
(C) 当期損益金(A+B)	352,929
(D) 追加信託差損益金	209,151
(売買損益相当額)	( 209,151)
(E) 計(C+D)	562,080
(F) 収益分配金	△ 7,986
次期繰越損益金(E+F)	554,094
追加信託差損益金	209,151
(配当等相当額)	(△ 8)
(売買損益相当額)	( 209,159)
分配準備積立金	344,943

\*損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Aコース>

(注) 分配金の計算過程（2023年11月6日～2023年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月6日～ 2023年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	101円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	352,828円
c. 信託約款に定める収益調整金	209,159円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	562,088円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	351円
g. 分配金	7,986円
h. 分配金(1万口当たり)	5円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	5円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## &lt;Bコース&gt;

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月6日～2023年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.019	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.014)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.003)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.002)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(2)	(0.015)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.000	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	4	0.034	
期中の平均基準価額は、10,296円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

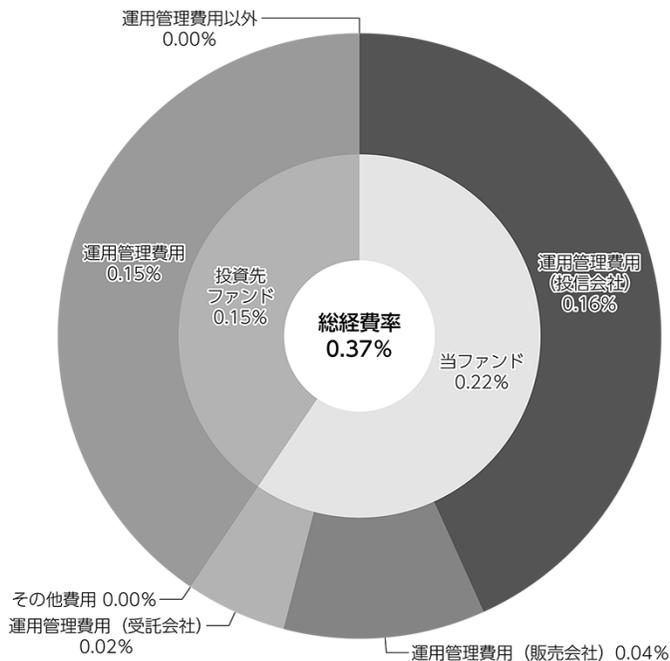
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Bコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.37%です。



(単位: %)

総経費率①+②+③	0.37
①当ファンドの費用の比率	0.22
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.15
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。  
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月6日～2023年12月6日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村アバンティス米国株式マザーファンド	千口 28,918	千円 29,601	千口 —	千円 —
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド	13,104	13,422	—	—

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月6日～2023年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2023年11月6日～2023年12月6日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2023年12月6日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
野村アバンティス米国株式マザーファンド	千口 28,918	千円 29,826
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド	13,104	13,415

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ＜Bコース＞

## ○投資信託財産の構成

(2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アバンティス米国株式マザーファンド	29,826	68.2
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド	13,415	30.7
コール・ローン等、その他	483	1.1
投資信託財産総額	43,724	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村アバンティス米国株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（38,343千円）の投資信託財産総額（40,984千円）に対する比率は93.6%です。

\*野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（17,058千円）の投資信託財産総額（18,381千円）に対する比率は92.8%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝147.26円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	43,724,329
コール・ローン等	482,702
野村アバンティス米国株式マザーファンド(評価額)	29,826,360
野村アバンティス世界（除く米国）株式マザーファンド(評価額)	13,415,267
(B) 負債	22,916
未払収益分配金	21,101
未払信託報酬	1,777
その他未払費用	38
(C) 純資産総額(A－B)	43,701,413
元本	42,203,472
次期繰越損益金	1,497,941
(D) 受益権総口数	42,203,472口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,355円

(注) 期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は41,203,472円、期中一部解約元本額は0円、1口当たり純資産額は1.0355円です。

## ○損益の状況（2023年11月6日～2023年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	218,627
売買益	225,360
売買損	△ 6,733
(B) 信託報酬等	△ 1,815
(C) 当期損益金(A+B)	216,812
(D) 追加信託差損益金	1,302,230
(売買損益相当額)	( 1,302,230)
(E) 計(C+D)	1,519,042
(F) 収益分配金	△ 21,101
次期繰越損益金(E+F)	1,497,941
追加信託差損益金	1,281,129
(売買損益相当額)	( 1,281,129)
分配準備積立金	216,812

\*損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Bコース>

(注) 分配金の計算過程（2023年11月6日～2023年12月6日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年11月6日～ 2023年12月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	281円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	216,531円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,302,230円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,519,042円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	359円
g. 分配金	21,101円
h. 分配金(1万口当たり)	5円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	5円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村アバンティス米国株式 マザーファンド

## 運用報告書

第1期（決算日2023年12月6日）

作成対象期間（2023年11月6日～2023年12月6日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米ドル建ての外国投資信託であるアメリカン・センチュリー・ETF・トラストアバンティス・US・エクイティ・ETF受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	米ドル建ての外国投資信託であるアメリカン・センチュリー・ETF・トラストアバンティス・US・エクイティ・ETF受益証券を主要投資対象とします。なお、米国の株式等に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
(設定日) 2023年11月6日	10,000	—	—	—	—	百万円 6
1期(2023年12月6日)	10,314	3.1	—	—	92.7	40

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

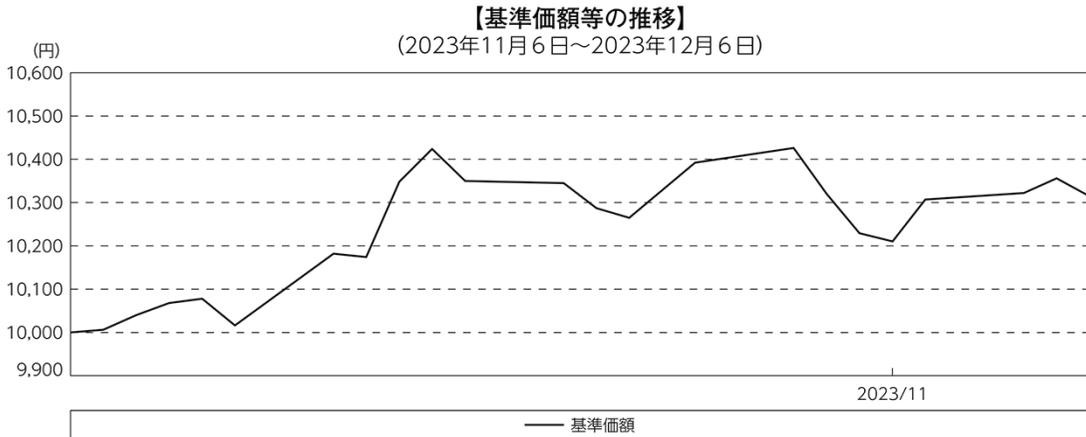
年月日	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(設定日) 2023年11月6日	10,000	—	—	—	—
11月末	10,210	2.1	—	—	84.0
(期末) 2023年12月6日	10,314	3.1	—	—	92.7

\*騰落率は設定日比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末10,314円となりました。

- (上昇要因) 7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことを受けて、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことが好感され、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 11月、金融引き締めに積極的とされていたFRB（米連邦準備制度理事会）高官が、インフレ率が低下し続ければ数ヵ月先に政策金利を引き下げの可能性を示唆したことで追加利上げ観測が和らぎ、株式市場が上昇したこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

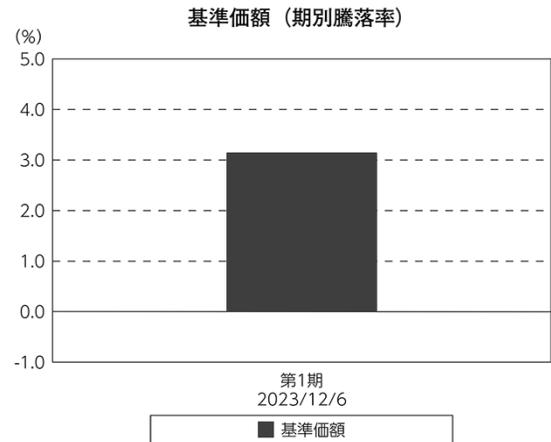
### ・期中の主な動き

[アメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・US・エクイティ・ETF] 受益証券を主要投資対象とし、投資比率を概ね高位に維持しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

[アメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・US・エクイティ・ETF] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、投資制限または投資対象とする外国投資信託の保有制限に従うため、組入比率を引き下げる場合があります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年11月6日～2023年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 1 (1)	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	1	0.013	
期中の平均基準価額は、10,210円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月6日～2023年12月6日)

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ		千米ドル		千米ドル
	アメリカン・センチュリー・ETF・トラスト・アバンティス・IS・エクイティ・ETF	3,331	254	—	—

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月6日～2023年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年12月6日現在)

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当期末		比率
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
アメリカン・センチュリー・ETF・トラスト・アバンティス・US・エクイティ・ETF	3,331	258	38,010	92.7
合計	口数・金額	258	38,010	
	銘柄数 < 比率 >	1	< 92.7% >	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年12月6日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 38,010	% 92.7
コール・ローン等、その他	2,974	7.3
投資信託財産総額	40,984	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産 (38,343千円) の投資信託財産総額 (40,984千円) に対する比率は93.6%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.26円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	43,193,316
コール・ローン等	2,974,151
投資信託受益証券(評価額)	38,010,631
未収入金	2,208,534
(B) 負債	2,209,059
未払金	2,209,058
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	40,984,257
元本	39,735,378
次期繰越損益金	1,248,879
(D) 受益権総口数	39,735,378口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,314円

(注) 期首元本額は6,540,000円、期中追加設定元本額は33,294,005円、期中一部解約元本額は98,627円、1口当たり純資産額は1.0314円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村アバンティス世界株式ファンド Bコース(野村SMA・EW向け) 28,918,325円  
 ・野村アバンティス世界株式ファンド Aコース(野村SMA・EW向け) 10,817,053円

## ○損益の状況 (2023年11月6日～2023年12月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	263
受取利息	315
支払利息	△ 52
(B) 有価証券売買損益	395,994
売買益	539,396
売買損	△ 143,402
(C) 当期損益金(A+B)	396,257
(D) 追加信託差損益金	855,995
(E) 解約差損益金	△ 3,373
(F) 計(C+D+E)	1,248,879
次期繰越損益金(F)	1,248,879

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村アバンティス世界（除く米国）株式 マザーファンド

## 運用報告書

第1期（決算日2023年12月6日）

作成対象期間（2023年11月6日～2023年12月6日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米ドル建ての外国投資信託であるアメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	米ドル建ての外国投資信託であるアメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF 受益証券を主要投資対象とします。なお、米国を除く世界の株式等に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
(設定日) 2023年11月6日	10,000	—	—	—	—	百万円 2
1期(2023年12月6日)	10,237	2.4	—	—	92.0	18

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

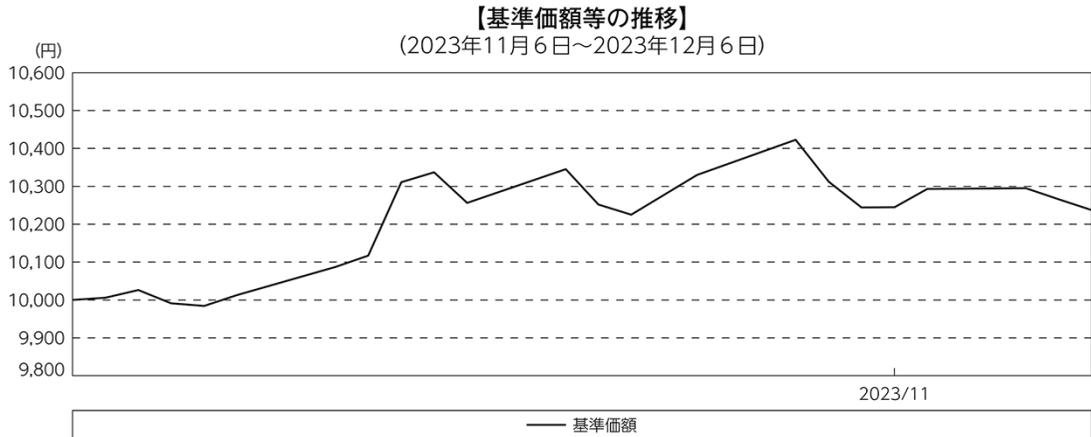
年月日	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(設定日) 2023年11月6日	10,000	—	—	—	—
11月末	10,245	2.5	—	—	84.6
(期末) 2023年12月6日	10,237	2.4	—	—	92.0

\*騰落率は設定日比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時10,000円から期末10,237円となりました。

- (上昇要因) 11月、英中央銀行が政策金利水準を据え置いたことや、11月の独ZEW景気期待指数が前月から改善し市場予想を上回ったことなどが好感され、株式市場が上昇したこと。
- (上昇要因) 中東情勢鎮静化への期待の高まりから、株式市場が上昇したこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、概ね高位を維持しました。

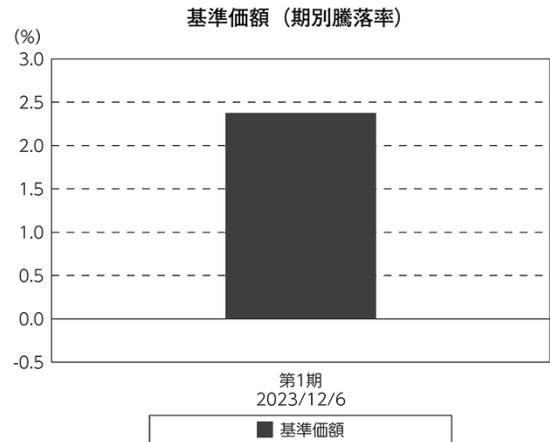
### ・期中の主な動き

[アメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF] 受益証券を主要投資対象とし、投資比率を概ね高位に維持しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは特定の指数等を念頭に置いた運用を行っていないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎今後の運用方針

[アメリカン・センチュリー・ETF・トラストーアバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF] 受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、投資制限または投資対象とする外国投資信託の保有制限に従うため、組入比率を引き下げる場合があります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年11月6日～2023年12月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	円 2  (2)	% 0.018  (0.018)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、10,245円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月6日～2023年12月6日)

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	アメリカン・センチュリー・ETF・トラスト・アバンティス・インターナショナル・エリート・ETF	1,981	114	—	—

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月6日～2023年12月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年12月6日現在)

## 外国投資信託証券

銘	柄	当 期 末			
		口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	千米ドル	千円	%
アメリカン・センチュリー・ETF・トラスト-アバンティス・インターナショナル・エクイティ・ETF		1,981	114	16,905	92.0
合 計		1,981	114	16,905	
	口 数 ・ 金 額	銘 柄 数 < 比 率 >	1	-	<92.0%>

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年12月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 16,905	% 92.0
コール・ローン等、その他	1,476	8.0
投資信託財産総額	18,381	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産（17,058千円）の投資信託財産総額（18,381千円）に対する比率は92.8%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=147.26円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年12月6日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,486,010
コール・ローン等	1,476,450
投資信託受益証券(評価額)	16,905,293
未収入金	1,104,267
(B) 負債	1,104,529
未払金	1,104,529
(C) 純資産総額(A-B)	18,381,481
元本	17,956,567
次期繰越損益金	424,914
(D) 受益権総口数	17,956,567口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,237円

(注) 期首元本額は2,940,000円、期中追加設定元本額は15,038,050円、期中一部解約元本額は21,483円、1口当たり純資産額は1.0237円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村アバンティス世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け） 13,104,686円  
 ・野村アバンティス世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け） 4,851,881円

## ○損益の状況（2023年11月6日～2023年12月6日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	123
受取利息	146
支払利息	△ 23
(B) 有価証券売買損益	29,358
売買益	93,968
売買損	△ 64,610
(C) 当期損益金(A+B)	29,481
(D) 追加信託差損益金	395,950
(E) 解約差損益金	△ 517
(F) 計(C+D+E)	424,914
次期繰越損益金(F)	424,914

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。